



目指すは日本一の働きやすさ 社員の自主性とチャレンジで 成長とやりがい溢れる職場に

「お客様を第一に考え、お客様と共に成長する」をパーパス(目的)に掲げ、多彩な事業で顧客を支援するベイヒルズ税理士法人。その成長と幸せを願う姿勢は、共に働く社員に対しても同じです。「日本で一番働きたい税理士法人」を目指す、代表の岡氏の想いに迫ります。

INTERVIEW



ベイヒルズ税理士法人
代表社員 税理士
岡 春庭氏

幅広く高い専門性で 顧客をワンストップ支援

私たちに二つの大きなビジョンがあります。一つめは「日本で一番顧問にしたい税理士法人」です。弊社のお客様には建設業や不動産業を中心に、年商7000万円〜3億円ほどの中小企業の方が多くいらっしゃいます。税務を任せることのできる税理士は、中小企業にとって一番の相談役です。しかし、企業にとって税務は経営状況を表す数字の一部に過ぎません。そのため弊社では、税務だけでなくお客様の経営全般を支援することが税理士の使命であると考え、ワンストップサービスでお客様の経営を助けられる事務所を目指しています。

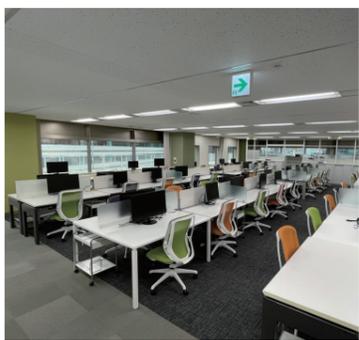
税務がすべてではないことを証明するかのようには、資産税課やMAS課のほか、ファイナンシャルプランナーや社会保険労務士を擁した専門部門を作っています。ここでも、経営者が抱える税務以外のお悩みにもワンストップかつ高い専門性で対応できることが弊社の強みといえます。

特に資産税に関しては、横浜の税理士事務所の中でも上位に入るほどの実績があります。これまで受けてきた案件の手応えと反省をもとにした、お客様に寄り添った丁寧なサービスで好評いただいています。また、近年ではSDGs経営No.1の税理士法人を目指しています。自分たちに何ができるのかを模索しつつ、業界の最先端を走っていると言えるほど税

働きやすさは社員が作る 自ら進める働き方改革

私たちが目指すビジョンの二つめは、「日本で一番働きたい税理士法人」です。実は独立10年目を迎えた頃、私の未熟さが原因で社員の多くが退職したことがありました。それ以来、社員の自主性を活かす方針にシフトし、給与面も含めて働き方の改善を進めてきました。そのため弊社では経営企画室を設け、トップダウンではなく社員を中心に働き方改革が進められています。

経営企画室からは労働環境を改善するためのフレックスタイムや在宅ワーク、フリーアドレスなど



の導入はもちろんのこと、働きやすさにつながるさまざまな取り組みが実施されています。おもしろい試みといえば、有志の社員が会議室をBar風に装飾し、お酒とおつまみを楽しむ「Barペイブルズ」という企画は、社員50人超が訪れる大成功を取めました。社員が長く元気に働けるように

未経験者が多数活躍！ 丁寧で充実した教育制度

弊社の大きな特徴の一つが、充実した教育制度です。弊社では未経験から早期に独り立ちできるよう、丁寧な教育制度を導入してい



岡 春庭 (おか はるにわ)
株式会社東芝に10年間勤務後、中小企業診断士の資格を取得。大手会計事務所転職し、1988年に独立開業。2013年にベイヒルズ税理士法人に改組し、代表社員に就任。SDGsの啓蒙にも積極的に取り組み、一般社団法人SDGs・ESG経営コンソーシアムの代表理事も務める。



←採用ページへの
アクセスはこちら

ます。教材を使用した座学にはじまり、入社半年までは上司の補助がある状態で現場を中心に仕事を覚えてもらいます。半年後からは上司と共同で担当を持ち、1年後には独り立ちするという段階的な教育体制です。自分ができるようになったこと、次にできるようなりたいことが明確になるため、社員も目標が立てやすいようです。そのぶん、目を見張る速さで成長してくれています。

新しいことに挑戦できる
成長チャンス溢れる環境

税理士事務所は人材がすべてです。事務所の成長のためには多くの人材が必要です。そのため弊社では役職付きの人材育成にも力を入れていきます。役職付きの人材が増えれば社員数が増え、さらなる事と教育ができますし、さらなる事

拠点・事業拡大で目指す
エクセレントカンパニー

弊社では定量的なビジョンとして、年商10億円・社員1000人体制を目指しています。そのビジョンに向け、今年5月には相模原市に支店を開設しました。社員の活躍の場を増やすために今後はさらに拠点を広げていき、弊社が横浜の地で培ってきた経験とノウハウを他地域のお客様にも提供していきたいと考えています。

支店だけでなく、不動産や物品販売といったグループ会社の増設も検討しています。また、事業継承やM&Aを専門で行う組織を新設するプロジェクトも進行中です。壁は高いですが、事業の幅を広げていくことで、高収益、高付加価値、高生産性、高待遇を実現するエクセレントカンパニーになっていきたいと考えています。

これから先、税理士業界だけでなくさまざまなビジネス全般において、DXやChatGPTなどのIT技術を取り入れていく必要があると思います。事業継承やM&Aを行なっていくためには専門知識やノウハウも必要になるでしょう。そうした専門分野に特化した人材を育てていくためにも、採用と人材育成が重要だと考えています。